



## 少年探偵ブラウン(1)

ドナルド＝ソボル 作

桜井誠 さし絵

花輪莞爾 訳

偕成社(偕成社文庫) 1977年 700円

ロイ・ブラウンは、百科事典と呼ばれるほど頭のいい少年です。警察署長のお父さんは、事件でわからないことはロイに聞くので、この町に未解決の事件はありません。ある日、ロイは探偵の仕事を始めました。日常の謎から強盗まで15の事件を、ロイのみごとな推理が解決します。それぞれの事件には「もんだい」がついており、いっしょに推理を楽しむことができます。シリーズは全5巻です。



## すえっこOちゃん

エディス＝ウンネルスタッド 作

ルイス＝スロボドキン 画

下村隆一、石井桃子 訳

フェリシモ 2003年(初版1971年 学習研究社)  
1238円



スウェーデンに住む5才の女の子Oちゃんは、7人きょうだいの末っ子です。猫を乳母車に乗せて町に行き大騒動になったり、でたらめに電話をかけて2匹の子犬をもらったり…。Oちゃんと家族の楽しい毎日のお話です。



## セロひきのゴーシュ

宮沢賢治 作

茂田井武 画

福音館書店 1966年 1100円



田舎の畑の中の小さな家に住むセロ(チェロ)弾きのゴーシュは、楽団長に叱られてばかりいました。ある晩、三毛ネコがやってきてチェロを弾いてくれるよう頼みます。それから毎晩、カッコウや子ネズミ、たぬきなど、いろいろな動物たちの頼みでチェロを弾いているうちに、ゴーシュはみんなが聞き入るようなチェロの弾き手になっていました。